

# 社会科学学習指導案

広島市立〇〇小学校  
教諭 〇〇 〇〇

1 日 時 平成23年12月〇日 (〇)

2 学 年 第5学年〇組

3 小単元 工業地域と工業生産

4 単元について

○ 我が国の工業は戦後、外国から原料を輸入し、高度に発達した技術で加工し輸出することによって成長してきた。そのため、これまでの工業地域は、太平洋ベルトといわれる関東地方南部から九州地方北部にかけて太平洋側の海岸沿いに発達してきた。この一帯は古くから交通が発達するとともに人口が集中しており、その工業生産額は全国の3分の2以上を占め、長い間、日本の工業をリードしてきた。しかし近年は、製品が小型化、高性能化したこと、工業用地や工業用水が確保しやすいこと、高速道路や空港などの交通網が整備されたことなどにより、工業地域は海岸から遠い内陸部や遠隔地へ広がっている。

日本の工業は、1950年代までは繊維工業が中心であったが、その後の経済の成長とともに、自動車や電気機械類などの機械工業が発達した。工業地域の工業生産は、機械工業が大きな部分を占めているところが多いが、地域によってその特徴を生かして特色のある工業を行っている。

東日本大震災の際に、東北地方のある中小工場が被災したため、有名自動車メーカーのほとんどが生産を停止せざるを得ないことがあった。我が国の工業を支える工場は、従業員300名未満の中小工場が全国の99%を占めている。中小工場の中には、すぐれた技術を開発・伝承しながら、世界が注目する高い技術を持っている工場も多くある。

工業は原料を加工して製品をつくり出し、完成した製品を運ぶため、運輸業と深くかかわっている。戦後は、重化学工業が盛んで、船や鉄道による輸送の割合が多かったが、近年では、交通網の発達により、貨物輸送はトラックが大部分を占めている。また、貨物の輸送手段の移り変わりを単元を通して調べ考えることで、製品が小型化・高性能化したきたことや、ジャストインタイム等、スピードが求められる傾向が産業全体にあることなども理解することができる。

○ 本学級の児童は、明るく、素直な子どもが多い。5年生では日本全体の学習となり、内容や語句が難しくなっているが、積極的に地図帳を開いたり、教科書や資料集から必要な資料を探し出して調べるなど、社会科が好きな子どもがたくさんいる。また、これまで写真やグラフなどから読み取れることを書き出して出し合い、みんなで考えを深める活動を意識して取り入れてきたため、資料から読み取れることが増えてきている。ただ、根拠をもって自分の考えをもったり、自分の意見をみんなに紹介したりするのが苦手な児童も何人かいる。

〇〇には、〇〇工業等の組立工場や、いくつかの関連工場があり、大型トラックもよく走っている。ただ、中を見ることは難しく、自分たちの生活とは遠い存在なので、どんなものを作っているのかさえ知らない児童が多い。また、〇は海に近く、〇〇の組立工場の見学でも見ており、トラックに加えて輸送手段としての船に親しみがある。ただ、JRの路線や飛行機はあまり意識の中にはないと思われる。

○ 指導にあたっては、単元の最初に、貨物の輸送手段の移り変わりのグラフをよく見て、グラフという資料からどんなことが読み取れるのか、じっくり考えさせたい。そして、それぞれの輸送手段のメリットやデメリットを考え、製品が小型化・高性能化したきたことや、スピードが求められていることに対応していることなど、日本の工業のみならず産業全体の様子の変化にも目を向けさせたい。

貨物の輸送手段の移り変わりから交通網の発達に目を向け、日本のどういうところで工業が盛んなのか予想して調べていく活動につなげたい。そして、昔から伝わる技術や地域の特色を生かして工業生産をしている例や、高い技術を誇る中小工場の様子資料から調べ、我が国の工業生産

の様子について考えさせていきたい。

## 5. 単元の目標

- 我が国の工業生産と工業地域の様子に関心を持ち，進んで調べることを通して，各種の工業生産や工業地域の分布，工業を支える運輸などの働き，各種の工業生産がすぐれた技術を開発・伝承しながら営まれて国民生活を支えていることを理解する。
- 我が国の工業生産や工業地域の様子から学習問題を見だし，地図，統計，写真などの資料を活用したりして調べたことを白地図や作品にまとめるとともに，我が国の工業生産の現状や特色について考えたことを適切に表現する。

## 6. 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会事象についての 知識・理解
<p>① 我が国の工業生産の様子や物流の働きに関心を持ち，それらが国民生活を支えていることを意欲的に調べている。</p> <p>② 国民生活を支える我が国の工業生産の発展を考えようとしている。</p>	<p>① 我が国の工業生産の様子について，学習問題や予想，学習計画を考え，適切にワークシートに記述している。</p> <p>② 工業生産の様子と国民生活とを関連付けて，工業生産が国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考え適切に表現している。</p>	<p>① 地図や地球儀，統計などの資料を活用して，我が国の工業生産の様子や様々な工業製品について必要な情報を集め，読み取っている。</p> <p>② 調べたことを白地図や作品などにまとめている。</p>	<p>① 我が国の各種の工業生産や工業地域の分布などを理解している。</p> <p>② 我が国の工業生産や物流の働きは，国民生活を支える重要な役割を果たしていることを理解している。</p>

## 7. 学習計画（全6時間）

過程	ねらい	主な学習活動 ☆資料・準備物等	■支援・留意事項 □評価規準・方法
であ う	<p>「貨物の輸送量の変化」のグラフから，日本の運輸の様子を調べる。①</p> <p>輸送方法の変化を予想する。②</p>	<p>「貨物の輸送量の変化」のグラフを見て，気付いたことを出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貨物の輸送量はどんどん増えている。</li> <li>・ 自動車が増えている。</li> <li>・ 船は増えていたけど，最近減った。</li> </ul> <p>それぞれの輸送手段の主な輸送物と，良い点や問題点を調べて，日本の貨物の輸送手段の変化に関心をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自動車は，よくないことが多いのに，なぜとても増えているのだろうか。</li> </ul> <p>なぜ日本の貨物の輸送方法が変化してきたのか，予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運ぶ速さと，増えたり減ったりしていることは関係があるのではないだろうか。</li> </ul>	<p>■ それぞれの輸送手段の変化の理由だけでなく，自動車はかなり増えた背景に目を向けて，日本全体の傾向を考えられるようにする。</p> <p>□ ノートへの記述や発表の様子から「我が国の物流の働きに関心を持って調べようとしているか。」を評価する。[関①]</p> <p>□ 「我が国の工業生産の様子について学習問題や予想を考え，適切にノートに記述しているか。」を評価する。[思①]</p>

- ・ 戸口から戸口まで運べるという理由は、大きいのではないだろうか。
- ・ 増えたり減ったりしているのは、運ぶ物と関係があるのではないだろうか。

日本の貨物の輸送方法は、なぜ変化してきたのだろうか？

ふかめ

工業がさかんな地域を調べ、共通する条件を考える。

②

日本の中で、工業がさかんな地域を調べる。

- ・ 中京工業地域が、一番さかん。
- ・ 日本全国にある。

工業がさかんな地域の共通点を考えて発表し、工業がさかんな地域の特色をまとめる。

- ・ 大都市に近い
- ・ 海に近い
- ・ 大きな港がある。
- ・ 高速道路がある。
- ・ 地域ごとの生産額のわりあいは、変化していても全体的な総生産額は、年々増えている。

☆ 教科書 p.22「工業地帯・工業地域図」  
☆ 地図帳 等

☆ 教科書 p.23「日本の工業生産額のわりあいのうつりかわり」

■ これまでの農業や工業の学習を参考にさせる。

■ 仮説を検証する中で、工業のさかんな地域の立地条件に気付くようにさせる。

□ 資料収集の様子から「我が国の工業生産の様子や様々な工業製品について必要な情報を集め、読み取っているか」を評価する。[技①]

□ 新聞や白地図の記述内容から「自分が調べる観点に基づいて必要な情報を集め白地図や作品にまとめているか」を評価する。[技②]

□ 発言や新聞の記述から「様々な工業製品が国民生活を支えているという観点で調べているか」を評価する。[関①]

□ 発言や新聞の記述から「我が国の各種の工業生産や工業地域の分布などを理解しているか」を評価する。[知①]

昔から伝わる技術や地域の特色を生かして工業生産をしている例を資料から読み取る。

③

地域によって、その特徴を生かして特色のある工業を行っていることを、教科書の資料をもとに調べる。

- ・ めがねのわく作り（福井県）
- ・ 薬作り（富山県）
- ・ 食料品工場（新潟県）
- ・ 漆器・建設用機械（石川県）

☆ 教科書 p.25「北陸工業地域の工場の分布」

■ 北陸工業地域では、海岸に沿って、地域ごとに特色のある工業製品を生産していることに気づかせる。

□ 発言や新聞の記述内容から、「工業生産の様子と国民生活とを関連付けて、工業生産が国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考え適切に表現しているか」を評価する。[思②]

高い技術を誇る中小工場の様子を資料から読み取る。

④

従業員300名未満の中小工場が、全国の99%を占めていることから、中小工場の製品作りの様子や世界が注目する高い技術を持っていることを資料から読み取る。

- ・ 大工場と中小工場の割合
- ・ 注文に応じて手作業での製作

■ 日本の工場のほとんどが中小工場であり、それらが高い技術持ち、日本の工業生産を支えていることに気づくようにする。

□ 身近な中小工場の生産技術の様子の読み取りから、「国民生活を支える我が国の工業生産の発展を考えようと

<p>日本の交通網を調べ、輸送手段の通り道について考える。 ⑤</p>	<p>・ 高い技術を持つ他の工場と連携・協力 ☆ 教科書 p.25 「従業員数別工場数のわりあい」 ☆ 教科書 pp.25 - 26 「工場働く人の話」</p> <p>日本には、どのように交通網がはりめぐらされているか調べる。 ☆ 教科書 p.29 「日本の主な交通網」</p> <p>日本のどこで工業がさかんか予想する。</p>	<p>しているか」を評価する。[関②]</p> <p>□ 日本全国の交通網から、日本全国のどこで工業が盛んかに結びつける考える活動から「我が国の工業生産の様子について、学習問題や予想、学習計画を考え、適切に学習ノートに記述しているか」を評価する。 [思①]</p>
<p>工業のさかんな地域に共通する点をまとめ、我が国の工業生産の様子について考える。⑥</p>	<p>工業のさかんな地域には、どのような特色があるのか、その共通する点を探り、日本の貨物の輸送方法は、なぜ変化してきたのかをまとめる。</p>	<p>■ 工業生産の発展の様子や日本の工業の様子、物流の働きなど、学習した内容を活用して自分なりの考えがまとめられるようにする。</p> <p>□ ノートへの記述や発表の様子から「工業のさかんな地域の特色や共通点と、貨物の輸送方法の変化を関連づけて考え、我が国の工業生産や物流の働きは、国民生活を支える重要な役割を果たしていることを理解しているか適切に表現しているか。」を評価する。[思②] [知②]</p>

## 8. 本時の目標

- 「貨物の輸送量の変化」のグラフから気付いたことをノートに書き出し、輸送手段の良い点と問題点を調べ、どうして日本の輸送方法が変わってきたのか関心をもつことができる。

## 9. 準備物

「貨物の輸送量の変化」のグラフを拡大したもの、  
鉄道・船・飛行機・自動車（トラック）の写真、  
鉄道・船・飛行機・自動車（トラック）の主な貨物の写真

## 10. 本時の学習展開

学 習 活 動	■支援 □評価
<p>1 日本の工場で使われる部品や、作られたものが、何を使って運ばれているか予想する。 ・ トラック ・ 船 ・ 飛行機</p>	<p>■ 意見が出にくいときは、〇〇重工の工場を想起させて、生活経験から考えられるようにする。</p>
<p>2 資料集 p.84 の「貨物の輸送量の変化」のグラフを見て、気付いたことをノートに書き出し、話し合う。 ・ 貨物の輸送量は、どんどん増えている。 ・ 貨物の輸送量は 50 年間でおよそ 4 倍になった。</p>	<p>■ 「トンキロ」は難しい単位なので、輸送量と考えてよいことを話しておく。 ■ 表題や縦軸・横軸などの基本情報</p>

- ・ 自動車が増えている。
- ・ 船が増えていたけど、最近減った。
- ・ 鉄道が減っている。
- ・ 航空機が、途中から出てきた。
- ・ 50年前は船が1番だったのに、今は自動車になっている。

は全体でおさえ、グラフの読み取りに集中できるようにする。

日本の貨物の輸送方法には、どんな違いがあるのだろうか？

2 自動車や船や飛行機・鉄道で、どのような物が運ばれているか調べる。

- ・ 自動車・・・砂利・砂，機械，食料品
- ・ 船・・・原油・自動車・木材
- ・ 飛行機・・・IC・LSI，カメラ・レンズ，医薬品
- ・ 鉄道・・・石油製品，セメント，原油

■ 自動車・船・飛行機・鉄道や、それぞれの主な貨物の写真を用意して、イメージしやすいようにする。

3 それぞれの輸送手段の良い点と問題点を調べる。

- ・ 自動車 良い点→戸口から戸口まで運べる。  
問題点→一度に多くの物は運べない。  
渋滞してしまうことがある。  
排気ガスが出て環境に悪い。  
あまり遠くへ行けない。
- ・ 船 良い点→安い費用で重い物を大量に運べる。  
トラックごと乗せられる。  
問題点→運ぶのに時間がかかる。  
港へ行かないといけない。
- ・ 飛行機 良い点→速く遠くまで運べる。  
直線距離で行ける。  
問題点→費用が高い。  
空港まで行かないといけない。  
天候に左右されやすい。
- ・ 鉄道 良い点→重い荷物を時間通りに運べる。環境にやさしい。  
問題点→線路のある場所にしか運べない。  
時間がかかる。

■ 難しい言葉は、問い返したり、辞書で調べたりして、言葉をきちんとしっかり理解できるようにする。

4 日本の貨物の輸送手段の違いについてまとめた表を見て、疑問点を出す。

- ・ 自動車は、よくないことが多いのに、なぜとても増えているのだろうか。
- ・ どれも良い点があるのに、減っている輸送手段がある。きっと何か理由があるのだろうか。

■ 意見が出にくい場合は、それぞれの輸送量が増えたり減ったりしていることと、よいところや問題点を関係づけて考えるように助言する。

□ ノートへの記述や発表の様子から「我が国の物流の働きに関心を持って調べようとしているか。」を評価する。[関①]